報徳@なう
１月号

福祉課や社協に機能低下兆候!

行政の住民サービス停滞に直面する困窮者を救うのは誰か？

街では「焼肉食べ放題」の文字が踊る。その一方で、食べ物がない状態で新年を迎える人が、この飽食時代に居るのも事実です。当ＮＰＯにも個人から直接、食品支援要請の連絡が入るようになってきました。クリスマス前には「生活費が尽きて、昨日から何も食べていない」という悲痛な相談もありました。行政の福祉課や社会福祉協議会に食品支援を要請しても対応してもらえなかった人です。このようにして餓死する人が出てくるのかもしれないと思うと、基本的人権とは何なのか、福祉のプロに問わずにはいられません。新型コロナの影響で失業者がさらに増え、数日間なにも食べていない、という人が今年は減る傾向にない事は容易に想像できます。福祉課や社会福祉協議会といった福祉のプロたちや、行政の頭脳集団はその状況にどう対処していくのか。当ＮＰＯも、食品支援活動の真価が問われる年になりそうです。【文責・編集部】


↑効果的な連携がないと、寄贈された食品が必要な人に届かない。

新型コロナ不況でサービス業のバイト／パートの収入減が続く

生活が行き詰る方が急速に増えています。この原稿は十二月二十六日に書いています。年を越す食べ物が無い方からの支援依頼がいくつも飛び込んできます。いずれも、コロナ禍で収入の道が絶たれた方達です。

コロナ不況は、２０２１年はさらに深刻になって行きます。なぜなら就業構造が変わってしまうからです。様々な小売り段階が縮小してＩＴに置き変わっていくのが加速されて、サービス関係従事者の雇用は激減します。残念なことは、行政の窓口がこの危機的状況がわかっていない事です。

対策の予算云々よりも、「２０２１年はえらいことになってしまう」状況が、自分たちの業務に大きな影響が出る事を感じて欲しいのです。

収入が安定している役所の方に期待するするのは無理かもしれませんが、危機感を感じていただくだけでも、困窮者支援の対応に心がこもると思うのです。

役所に来た緊急支援要請をフードバンクに振っておしまい。十二月二十八日は仕事納め。あとはフードバンクさんよろしく・・・という態度に無念を感じたのです。【副理事長　本岡俊郎】


↑食品配布の現場では、季節感を演出する食品選びも重要。


↑株式会社クラダシから寄贈された「生めん」は子育て世帯にとって貴重。

●報徳食品支援センターニュースレター「報徳@なう」
Vol.02 / No.001
●発行所
ＮＰＯ法人　報徳食品支援センター
●発行人：田嶋　享
●編集人：本岡俊郎
●編　集：千葉哲也
●電　話：０７０－８５５５－２１８９
http://小田原報徳フードバンク.com

１２月の主な食品配布実績

【１】０１日：箱根はまゆう会・仙石原　１３０世帯
【２】０７日：箱根はまゆう会・芦ノ湖　４０世帯
【３】０８日：松田町へ食品提供　５０世帯
【４】１９日：カーサ・デ・アミーゴス　（三島市）
【５】２０日：小田原市母子寡婦福祉会　８０世帯
【６】２５日：真鶴町へ食品提供　４世帯


↑軽トラに食品を満載して三島に戻る準備をするカーサ・デ・アミーゴスの水野氏。

報徳食品支援センター
新電話番号
おとな　おやこ　GoGo　フードバンク
070-8555-2189

【理事長より】

●第一次産業の重要性に注目

明けましておめでとうございます。

今年は、社会的にも経済的においても、大変厳しい年になると思います。

小田原も明治の初期に疾病がはやり、五年くらい蔓延して、小売業である青果商、鮮魚商、そして多くの飲食店にも大きな影響があったと記されています。

私達は神奈川県の黒岩知事が十二月十五日に発表した令和二年の漢字「繋（つながる）」をもとに、皆さんと一緒に頑張っていきたいと考えています。

現在の小田原の農業の実態を見ると、高齢化と後継者不足によって、荒廃した農地が増えています。私は、今こそ小さな農業を始めるべきだと思います。

皆さん、今年は小さな農業を始めてみませんか？

【理事長　田嶋　享】


↑農業を自ら実践する理事長の田嶋享。


↑昨年行われたタマネギの苗植えの様子。

【これからの活動予定】

★箱根はまゆう会
●一月七日（木）@箱根町芦ノ湖（旧　湖畔亭）
●一月十八日（月）@箱根町大平台（集会所）

★開成町母子寡婦福祉会
●一月二十三日（日）@報徳食品支援センター

【ボランティアの募集】

Http://小田原報徳フードバンク.com/問い合わせ/
ボランティア募集中です。

●編集後記

クリスマス前に小田原市久野の潮音寺から、お米などの寄贈があった。地域福祉に理解のあるありがたいお寺だ。同時期に、人気ラーメン店のチャーシューが大量に入荷した。製造過程で出た端切れをまとめて冷凍保存してくれているそうで頭が下がる。（哲）